

平成27年度は、米原市にとって合併10年の節目の年になります。合併以来、米原市ならではの個性あるまちづくりを目指し、その基盤を着実に積み上げてきました。特に、平成26年度は、市政の大きな柱としてきた子育て支援や少子化対策、また高齢者をはじめとする市民のみなさんが安心して暮らせるまちづくりに向け「地域に寄り添う」ことを基本姿勢として取り組みました。

平成27年度はこれまでの取組を総括し、米原市が一体感をもって、新しい米原市に向かってスタートを切ります。また、平成27年度は人口減少に国を挙げて立ち向かおうとする最初の年となります。みなさんと共に未来展望を描き、生きる喜び、支え合い、安心な暮らしの真ん中に、「人や地域を大切にする」という理念をもって人口減少に立ち向かい、若者をはじめとする市民のみなさんの希望や願いを実現する「希望都市まいばら」を目指し、各種の施策を進めます。

1 女性や若者等が魅力を感じるまちづくり

米原市の人口減少は、死亡数が出生数を上回る「自然減」と、20代の若者を中心とする転出超過による「社会減」が大きな要因です。

若者がどんな希望を持っているのか、どんな未来を願っているのか、その希望に応える施策を展開し、若者の定住につなげていきます。

また、出生率の上昇につながる子育て環境の整備を進めることも重要であり、引き続き「県内一子育てしやすいまち」の実現を目指す取組を進めます。

【主な事業】

●放課後安心プラン事業

放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりに向け、留守家庭児童の生活の場とする放課後児童クラブを開設します。また、台風などによる学校の臨時休校時の対応を図ります。

●ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を受けたい保護者の会員と、子どもの預かりなど育児を援助する会員による、地域の相互援助組織として、新たに「ファミリー・サポート・センター」を開設します。

●新たな出会い・婚活支援事業

妊娠、出産、育児、子育て、教育など切れ目のない子育て・子育て支援サービスの充実を図るとともに、未婚化・晩婚化への対応として男女の「出会い」に焦点を当てた事業に取り組めます。



●(仮称)まいばら認定こども園の施設整備事業

2 市民が安心して健やかに暮らせるまちづくり

「住み慣れた地域で

最後まで暮らしたい」

こうした市民の願いに応え、超高齢社会の中で、社会保障制度を持続可能なものとしていくことが求められています。

地域で暮らすすべての市民が、健康で、生き生きと活躍し、安心して暮らせるまちづくりに向け、地域内で互いに支え合う仕組みづくりなどの取組を進めます。

【主な事業】

●地域支え合いセンター事業

地域課題に取り組む人材や組織の育成と、課題解決に必要な対策を生み出し、さまざまな団体や個人が支え合う仕組みをつくる「地域支え合いセンター」を開設します。

●地域包括医療福祉センター事業

米原診療所と連携しながら、米原・近江地域の在宅医療サービスの拠点となる「地域包括医療福祉センター」を開設します。

●地域お茶の間創造事業

高齢者等が集い、活躍できる地域の居場所づくり事業を引き続き実施し、地域内での児童の見守り等事業拡充を図り、地域の支え合い体制づくりに向けた支援制度を創設し、地域の活性化とコミュニティの再構築を目指します。



●道路新設改良事業、河川や橋りょうの維持管理事業



「希望都市まいばら」の 実現に向けて

—平成27年度施政方針—

合併10周年記念事業

米原市誕生10周年を祝い、将来の「希望都市まいばら」の展望を見据え、市民との協働の推進、子どもや若者等に希望と愛着を育む記念事業を展開します。

- 合併10周年記念式典
 - (仮称)MAIBARAまるしえ
 - 市勢要覧の発行
- 等

地方創生の取組

人口減少の克服に向けた地方創生の取組は、平成27年度中に策定する総合戦略により本格的にスタートしますが、策定に先駆けた先行的な取組として、以下のような事業を進めます。

- 移住・定住・少子化対策
U I J ターン雇用促進事業、創業者支援事業、総合的空家対策推進事業
 - シティセールス推進
るるぶ®特別編集版作成事業、第2弾みらいづくり隊(若手工芸作家等招へい)事業
 - (仮称)米原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定
「少子化対策」「移住・定住対策」「シティセールス推進」に重点を置いた「(仮称)米原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。
 - 地域消費喚起・生活支援の取組
まいばらプレミアム付商品券事業
- 等

※平成27年度予算は、広報まいばら4月15日号でお知らせします。

お問い合わせ 政策推進部 政策推進課(米原庁舎)
☎ 52-6626 ☎ 52-5195

全国の自治体で魅力や個性を高め合う競争が加速し、一方で自治体の連携による効果的・効率的な取組も進むことが予想されます。こうした中、米原市が未来へ向かって確かな歩みを進めていくため、交通の結節点であると同時に、誇るべき価値や魅力である水源の里としての市の強みを最大限に生かし、その評価と信頼を高める取組を進めます。

【主な事業】

●JR東海道本線・ 駅周辺地域活性化事業

JR東海道本線周辺の空家・空地の有効活用により、定住と転入を促進し、新たな地域コミュニティの形成とにぎわいを取り戻す人口減少問題への対応に取り組みます。



●地域と市役所を近付ける 地域担当職員制度の促進事業

市役所職員一人ひとりが市民と地域に向き合い、市民の立場で地域の課題解決に取り組む地域担当職員制度の活用を促進します。

●小規模学校の支援と 少人数教育による きめ細やかな指導推進事業

国・県の35人学級編成の基準に満たない小・中学校で、35人以下の学級編成または少人数指導を行い、質の高い教育の実現と学力向上につなげます。

●小学校トイレ洋式化整備事業、 中学校空調整備事業

3 未来へたしかに歩むまちづくり